

## 【CBT新機能】とりまとめ条件「利用回数制限機能」のご案内

### ■「利用回数制限機能」とは

2022年12月27日より、金融業務能力検定およびサステナビリティ検定のCBTとりまとめ条件に「利用回数制限機能」（1～5回）を設定することができるようになりました。「利用回数制限機能」とは、とりまとめ条件を利用した受験者1人当たりの受験申込回数を制限することができる機能であり、本機能を設定した時以降、制限回数を超過しての受験申込ができなくなります。

### ■設定方法（「団体とりまとめご担当者向けマニュアル」P.11～13参照）

次の2通りの方法で「利用回数制限機能」を設定することができます。

- ・団体管理画面（緑画面）>CBT試験管理>CBT試験とりまとめ条件登録>「利用回数制限」を選択（無制限（デフォルト）、1～5回から選択）
- ・団体管理画面（緑画面）>CBT試験管理>CBT試験とりまとめ条件検索>既存のとりまとめ条件を検索>編集>「利用回数制限」を選択（無制限（デフォルト）、1～5回から選択）

### ■注意事項

・利用回数制限機能（以下、「本機能」という）を設定する場合は、受験申込時の混乱を回避するため、とりまとめご担当者様から受験者様（受験対象の行職員）へ、通達やとりまとめ条件内の「受験者向け案内文」などにより、利用回数制限がある旨を必ず周知してください。なお、受験者様がマイページから制限回数を超過して受験申込をしようとする、とりまとめID・申込用パスワード入力画面上に次のエラーメッセージが表示され、受験申込はできません。

※エラーメッセージ「このとりまとめIDの利用回数は、上限に達したため受験申込できません。団体申込により受験申込を希望する場合は、所属団体のとりまとめご担当部署へお問合せください。」

- ・とりまとめ条件登録後に利用回数制限の内容が変更された場合は、その直後から、変更後の回数制限を受けることとなります。（※下記パターンA参照）。
- ・本機能は、とりまとめ条件ごとに登録時および登録後の編集時に設定することができます。ただし、既存のとりまとめ条件に本機能を設定する場合は、制限回数を超過して受験できるケースがありますのでご注意ください（※下記パターンC参照）。
- ・本機能を設定したとりまとめ条件の利用回数には、当該とりまとめ条件による過去すべての試験予約ステータス（「予約中」、「試験完了」および「欠席」）が含まれます。なお、「キャンセル」したものは利用回数には含まれません（※下記パターンD参照）。
- ・複数種目を受験可能としているとりまとめ条件に本機能を設定した場合は、受験種目の別とは無関係に、当該とりまとめ条件による受験回数がすべてカウントの対象となります（※下記パターンE参照）。なお、「DCプランナー1級 A～C分野」は、それぞれ1種目として別カウントとなります。
- ・利用回数のカウント対象は、個々のマイページログインIDごとの「予約中」、「試験完了」および「欠席」であり、受験者が別のマイページを作成して受験申込をした場合、別カウントとなります。

・とりまとめ条件を社内で通達した後、ある行職員が退職し、とりまとめ ID とパスワードを記憶していた場合、退職後であっても当該とりまとめ条件を利用して在職時とあわせて制限回数まで受験申込ができてしまうこととなります（対応方法：とりまとめ条件に受験期間を設定する、退職者にとりまとめ条件を利用して受験しないよう案内する等）。

#### 例) とりまとめ ID : kinzai02 の利用回数制限を 2 回に設定している (しようとしている) 場合

パターン A : 「kinzai02」を利用して既に 1 回受験（または予約中、欠席）している状態で本機能が設定（無制限→2 回に変更）された場合、次回（2 回目）の受験申込は可能です。3 回目以降の受験申込をしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

パターン B : 「kinzai02」を利用して既に 2 回以上受験（または予約中、欠席）している状態で本機能が設定（無制限→2 回に変更）された場合、次回以降の受験申込をしようとすると、エラーメッセージが表示されます。なお、既存の受験結果や成績データについては、特段の影響はありません。

パターン C : 「kinzai02」を利用して既に 2 回受験（または予約中、欠席）しており、さらに 3 回目の予約中の受験申込がある状態で本機能が設定（無制限→2 回に変更）された場合、現在予約中の受験申込については通常通り受験可能です。次回（4 回目）以降の受験申込をしようとすると、エラーメッセージが表示されます。なお、現在予約中の受験データについては、既存の受験結果等のデータ同様に、特段の影響なく閲覧することができます（団体管理画面＞CBT 試験管理＞CBT 試験履歴の検索条件欄に、とりまとめ ID 「kinzai02」を入力して検索することで、予約中の受験者を確認することができます）。

パターン D : 「kinzai02」で既に 1 回受験（または予約中、欠席）しており、かつ 1 回キャンセルしている状態で本機能が設定（無制限→2 回に変更）された場合、キャンセル分はカウントされず、次回（2 回目）の受験申込は可能です。予約中の受験申込をキャンセルせずに 3 回目以降の受験申込をしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

パターン E : 「kinzai02」を利用して AML/CFT スタンダードコースを受験（1 回目）し、次に DC プランナー 2 級を受験（2 回目）した後、次回（3 回目）以降の受験申込をしようとすると、エラーメッセージが表示されます

#### ■活用例

とりまとめ ID 「kinzai01」: 利用回数制限 1 回、団体一括支払を設定

とりまとめ ID 「kinzai00」: 利用回数制限は無制限、受験者支払（コンビニ支払、クレジットカード支払等）を設定

1 回分の受験手数料は会社負担とするが、2 回目以降については受験者負担としたい場合、通達発出時に、1 回目の受験は「kinzai01」、2 回目以降の受験は「kinzai00」を使用して受験申込するよう周知してください（「団体とりまとめご担当者向けマニュアル」P.17 参照）。とりまとめ団体様が必要以上に受験手数料を負担することを防ぐことができます。

以上